

対象案件	「北広島市総合計画(第5次)2016推進計画(平成28年～30年度)の作成」について
意見募集期間	平成27年12月15日(火)から平成28年1月14日(木)まで
担当部署(問合せ先)	企画財政部 政策推進室 企画課 電話 011-372-3311 内688
意見提出件数	意見提出者数 3
	意見提出件数 6

提出のあった意見の概要	市の考え方 (案を修正したときは修正内容)
<p><b>【ひとり親家庭支援事業について】(拡大要求事業)</b></p> <p>制度の情報が必要とするすべての方に届くよう細やかな配慮をしてほしい。</p> <p><b>【生活困窮者自立支援事業について】(拡大要求事業)</b></p> <p>中学生の学習支援をしていくなかで、「子ども食堂」や「フードバンク」などの食事の支援を検討し、実施してほしい。</p> <p><b>【住民票等コンビニ交付事業について】(新規要求事業)</b></p> <p>費用対効果を十分検討すべき。システム構築費用やコンビニ店舗の負担と利用する市民がどれだけいるのかを比較検討してほしい。</p> <p><b>【旧島松駅通所大規模改修事業について】(新規要求事業)</b></p> <p>旧島松駅通所大規模改修事業について、観光資源の少ない北広島にとって貴重な建物ですが、単体としては集客力がないのではないのでしょうか。周辺整備も含めて思い切った計画を期待します。テーマパークとまではいなくても、ある種公園化しベンチや散策路などの整備、売店や資料館やその他施設の建設など開拓時代を思い起こさせる工夫が必要だと思いますがいかがですか。予算もかかることなのですが、せっかくの建物がもったいないように思います。</p>	<p><b>【ひとり親家庭支援事業について】</b></p> <p>ひとり親家庭に関する支援につきましては、市広報紙や市ホームページ、子育てガイドブックに掲載して周知を図っています。また、ひとり親家庭などの方を対象とした児童扶養手当の認定申請の際に、窓口でリーフレットでの支援制度の説明と配布、児童扶養手当の支払通知へのリーフレットの同封をしているところであります。今後も引き続き、周知啓発に努めてまいります。</p> <p><b>【生活困窮者自立支援事業について】</b></p> <p>学習支援事業につきましては、学力の差異から引き起こる貧困の連鎖の防止や子どもの居場所づくりを主たる目的として実施を予定しております。学習支援事業での食事の支援につきましては、学習支援の実施における諸課題なども整理し、判断していく必要があるものと考えております。</p> <p><b>【住民票等コンビニ交付事業について】</b></p> <p>コンビニ交付事業につきましては、対応機器を設置した全国のコンビニで利用できるなど、住民票等の取得場所が多岐に渡り、市窓口よりも長時間の交付が可能であるなどの利点があります。一方で、構築費用や運営経費などに多額の経費を要するほか、利用可能な方が個人番号カード(マイナンバーカード)の取得者に限定されること、また、取得できる証明の種類に制限があります。市では今年1月から交付開始になった個人番号カードの普及率や近隣市の状況及び国の補助制度等の情勢を勘案しながら、コンビニ交付の利点や費用対効果について引き続き調査を行い、導入の可能性について検討を行ってまいります。</p> <p><b>【旧島松駅通所大規模改修事業について】</b></p> <p>旧島松駅通所につきましては、未来に遺すべき貴重な文化財であり、本市における貴重な観光資源であることから、安全安心に活用できるような改修を計画しているものであります。また、旧島松駅通所周辺につきましては、集客力の向上を図る観点から、土地利用のあり方や、より魅力ある空間を創出するための整備等について検討を進めてまいります。</p>

提出のあった意見の概要	市の考え方 (案を修正したときは修正内容)
<p><b>【住民票等コンビニ交付事業について】(新規要求事業)</b></p> <p>住民票等コンビニ交付事業については、国の政策に基づいたものなのかもしれませんが、それほどの利便性の向上は望めないように思います。毎日のように住民票などを必要とする人は少なく、あっても年に数回でしょう。現在でも地区の出張所などでも交付されていますし、コンビニのどの店舗で可能にするのか。また、コンビニが廃業したときはどうするのか。郵便局ではできないのか。など、いろいろ問題があるかと思えます。システムの構築にも維持にも多額の予算が必要ならば、それに見合った市民の利便性の向上が条件となります。さらなる議論が必要と思われ、今回は盛り込まなくてもよいのではと考えます。</p> <p><b>【生涯学習振興会支援について】(拡大要求事業)</b></p> <p>北広島団地地区の振興会設立と支援があげられています。他の地区では数年前より活動しているようです。北広島市HPの検索資料によると公民館活動の発展的解消によって設立されたとされています。北広島団地内には公民館ではなく団地住民センターが有りますが、公民館活動は行われていないように思います。かわってヒルティ文化事業などは地域の任意団体により、実施されていると思えます。</p> <p>北広島団地地区に振興会を設立することにより、どのような利点が生まれるのか他の地区の活動報告や検証をみても明らかではなく、毎年各振興会支援事業に1800万円もの予算をついやしさらに団地に設置することで200万円追加する必然性があるのか判りません。実施に当たり基本的な点からの見直しが必要と考えます。</p>	<p><b>【住民票等コンビニ交付事業について】</b></p> <p>コンビニ交付事業につきましては、対応機器を設置した全国のコンビニで利用できるなど、住民票の取得場所が多岐に渡り、市窓口よりも長時間の交付が可能であるなどの利点があります。</p> <p>一方で、構築費用や運営経費などに多額の経費を要するほか、利用可能な方が個人番号カード(マイナンバーカード)の取得者に限定されること、また、取得できる証明の種類に制限があります。</p> <p>市では今年1月から交付開始になった個人番号カードの普及率や近隣市の状況及び国の補助制度等の情勢を勘案しながら、コンビニ交付の利点や費用対効果について引き続き調査を行い、導入の可能性について検討を行ってまいります。</p> <p><b>【生涯学習振興会支援事業について】</b></p> <p>生涯学習振興会につきましては、中学校区を基本とし、地域での生活文化の向上、健康の保持増進、青少年の健全育成、社会福祉の向上、生涯学習の推進や地域の活性化を目的に、その地域に住む方々が主体となって様々な事業を企画・実施する組織として設置しています。</p> <p>北広島団地地区における生涯学習振興会の設立につきましては、団地住民センターを拠点として、様々なサークル・団体による日常活動やヒルティ文化協会による文化祭等が自主的に行われていることも踏まえながら、設立の必要性や可能性などについて、地域の皆様と協議をしていく中で検討してまいります。</p>